

令和7年度 学校評価自己評価表 (評価計画 中間評価 最終評価)

東広島市立風早小学校

学校の教育目標		未来志向で考え方行動・挑戦する児童の育成 【めざす子供像】 ○自分で考え、行動できる子 ○相手の立場を理解し、互いに協力し合う子 ○見通しをもって、挑戦しようとする子 ○学校や地域を愛する子				経営理念		チーム風早小で進める学校運営 ①チャレンジ……………目標に向かって挑戦する児童・教職員 ②チェンジ……………アンテナを張り、時代を読み、変革する教職員 ③コミュニケーション…………学校・家庭・地域が一体となり前進するコミュニティ・スクール					
評価計画					自己評価				学校関係者評価 ※学校の自己評価に対する評価			改善方策	
中期経営目標	短期経営目標	評価項目・指標	目標値	目標達成のための具体的な方策	達成度		評価	結果と課題の分析	評価		コメント	改善方策	
					10月	2月			A	B	C		
確かに学力	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	【研修テーマ】自己調整力を高め、主体的に学ぶ児童の育成～個別最適な学びの視点に立った授業づくりを通して～	80% 80% 100%	・自分で学習方法を選択し、学びを進めている児童80%以上。 ・学習を振り返り、次に生かすことができる児童80%以上。 ・標準学力調査の平均正答率を各学年が全国平均を上回る。	89%	82%	3	・自由進度学習を実施し、個別最適な学びの視点を取り入れた授業づくりを行ったことで、「自分で学習方法を選択し、学びを進めている」という項目に肯定的評価をした児童は89%となった。 ・学習方法と学習内容の振り返りの指導を日々の授業やフリー宿題で継続的に行なった結果、「振り返りを次に生かすことができる」という項目に肯定的評価をした児童は82%となった。 ・標準学力調査の結果、4学年中全ての学年が全国平均を上回ったが、国語科においてどの学年も漢字の読み書き・資料の読み取りに課題がある。	○		自由進度学習に87%の評価はすばらしいです。全ての学年が全国平均を上回ったことは評価できます。	継続は力なり。最終評価が楽しみです。	
					100%	100%							
豊かな心	向上的変容をめざす集団づくり	風早プライドの徹底(挨拶・返事)	85%	・ICTを活用した校内研修を年10回以上行う。 ・児童に対して、市主催のICTコンペ、タイピング大会への参加を促す。 ・効果的な活用事例を蓄積し、共有化する。	60%	100%	3	・ICTの校内研修は前期に3回と、あまり実施できなかった。後期に多く実施したい。 ・市主催のICTコンペに、タイピング大会には4・5・6年生を中心にはほぼ全員が参加でき、市から表彰状をいただいた。 ・学級ではほぼ毎日PCを活用している。効果的な活用事例については、研修の中で紹介し活用の場を広げたい。	○		ICTは充分に定着し学習効果を上げています。次の目標ももてています。	形骸化した取り組みにならないように、視点を変えていきましょう。	
		読書習慣の定着	80% 80%	・全校朝会で呼びかける。 ・各学級による振り返りを、毎日行う。 →肯定的評価90%以上 ・月ごとの振り返りを全校放送で行い、挨拶・返事のレベルを上げる。→肯定的評価85%以上	85%	100%							
健康でたくましい体	成長を実感できる体力・健康づくり	運動に係る自己記録の更新	80%	・準備運動に、「ラダー運動」「縄跳び」を加え、年間を通して、すばやく動作を繰り返す能力を高めていく。 ・大休憩の最初の時間に、ジャンプ運動を行い、地面をける力を高める。 ・1年間で50m走を2回実施する。 ・水泳や持久走練習の実施前に、挑戦カードを配布し、目標の記録を意識した練習を実施する。	84%	105%	3	・すばやく動く力やける力を高めるために、体育の準備運動にラダー運動を行うことと、朝の時間にジャンプ運動をすることを継続的に行なうことができた。 ・水泳の授業前に挑戦カードを配布し、各学年で目標を突破することを意識した授業や練習を実施することができた。	○		一定の目標を常時掲げての取組は重要です。年々向上しています。	保護者連携も重要です。時間の意義を大切してください。	
		基本的な生活習慣の向上	80% 80%	・自分が決めた就寝・起床時刻を守る児童の割合80%以上 ・自分が決めたゲーム遊びの時間、メディア視聴の時間を守る児童の割合80%以上	71%	83%							
開かれた学校づくりと働き方改革	コミュニケーションによる学校、地域への愛着と誇りの育成	母校・地域に愛着と誇りをもたせる「地域貢献型の生活科・総合的な学習の時間」の推進	90%	地域への愛着度についての児童アンケートの肯定的評価90%以上	93%	103%	3	「自分の就寝・起床時刻を守る」児童の達成率が71%だった。自分の目標時刻を意識して頑張っている児童も多かったが、5日間となると目標を達成できなかつた日が何日かあった児童もいた。保護者から、「時間意識して行動することがなかなか身につかない」などの意見もあり、学校生活での時間の決まりや声掛けも継続して行ないたい。	○		71%はよくできた数字であるかも、と思います。ハーフの高い目標です。	学校運営協議会委員自身も、CSの在り方について協議する場があると思います。	
	働き方改革と業務改善の推進	教職員が健康で働きやすいある職場づくり	90%	・頑張れたこと・成長したことがあるといえる教職員の割合90%以上 ・学校は、働きがいがあると感じる教職員の割合90%以上	97%	107%							

評価★ 4…目標を上回って達成(5／6学級以上) 3…目標どおりに達成(4／6学級)
2…目標をやや下回って達成(3／6学級) 1…目標をかなり下回って達成(2／6学級以下)評価 4…目標を上回って達成(110%～) 3…目標どおりに達成(90%～110%)
2…目標をやや下回って達成(70～90%) 1…目標をかなり下回って達成(～70%)